

RYOBI

2015年3月期
第2四半期
決算説明会

(証券アナリスト、機関投資家向け)

リョービ株式会社

2014年11月25日

1

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

2

目次

I . 2015年3月期 上半期 連結業績概要

II . 2015年3月期 通期 連結業績予想

III . 事業別の状況

3

**I . 2015年3月期 上半期
連結業績概要**

4

業績の概要

増収・減益

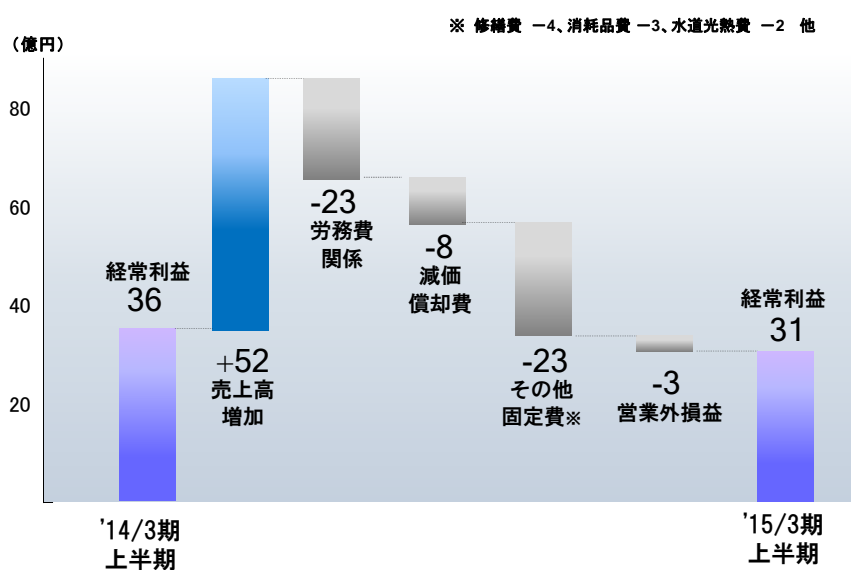
売上高は5期連続の増収、利益は減益

単位：億円

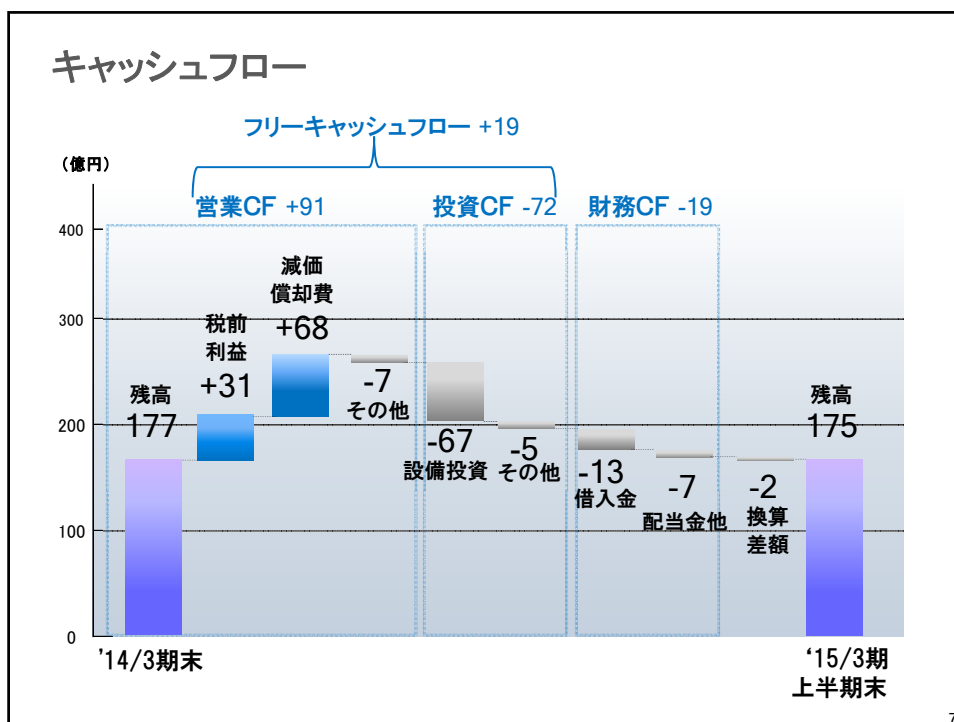
	'13/3期 上半期		'14/3期 上半期		'15/3期 上半期		前年同期比	
	(利益率%)	実績	(利益率%)	実績①	(利益率%)	実績②	②-①	増減率%
売上高		826		938		1,083	+145	<+15.5>
営業利益	(2.7)	22	(4.0)	37	(3.3)	35	-2	<-4.5>
経常利益	(2.4)	20	(3.8)	36	(2.9)	31	-4	<-12.4>
当期純利益	(1.4)	12	(3.7)	35	(1.4)	15	-19	<-55.8>
		'13/3期末		'14/3期末		'15/3期 上半期末	前期末比	
		実績		実績①		実績②	②-①	増減率%
総資産		2,147		2,450		2,444	-5	<-0.2>
自己資本		785		916		897	-18	<-2.0>
有利子負債		791		854		829	-25	<-2.9>

5

経常利益増減要因



6



事業別の業績

単位: 億円

事業	'13/3期 上半期		'14/3期 上半期		'15/3期 上半期		前年同期比	
	(構成比率%)	実績	(構成比率%)	実績①	(構成比率%)	実績②	②-①	増減率%
売上高								
ダイカスト	(75.7)	625	(78.1)	732	(76.2)	825	+93	<+12.7>
住建機器	(15.2)	125	(13.7)	129	(12.3)	133	+5	<+3.6>
印刷機器	(9.1)	75	(8.2)	77	(11.4)	123	+46	<+60.0>
営業利益	(利益率%)		(利益率%)		(利益率%)			
ダイカスト	(2.9)	18	(4.1)	30	(2.9)	24	-6	<-20.1>
住建機器	(8.8)	11	(6.0)	8	(4.7)	6	-1	<-18.9>
印刷機器	(-)	-7	(-)	-0	(4.2)	5	+5	<->

事業別営業利益の増減要因 (前期比)

ダイカスト事業 (-6億円)

中国での生産拡大に加えて、米国や欧州での受注増加、国内での受注の回復により増収。しかし、海外拠点での先行投資に伴う固定費の増加などにより減益。

住建機器事業 (-1億円)

国内販売を中心に売上高は増加。一方、人民元高の影響など売上高原価率の上昇や販売競争の激しさなどから減益。

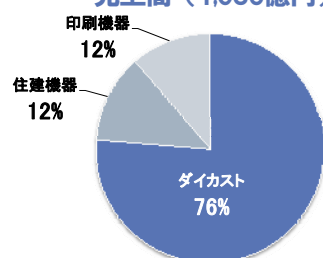
印刷機器事業 (+5億円)

三菱重工印刷紙工機械株式会社とのオフセット枚葉印刷機事業の統合で、印刷機のラインアップが拡充され、顧客基盤を活かした販売活動を積極的に進めた結果、増収。利益については、増収に伴う増益に加え、円安基調が続いていることによる輸出環境の改善などで増益。

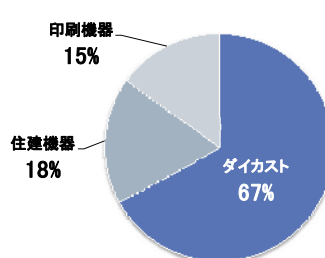
9

事業別構成比 ('15/3期 上半期)

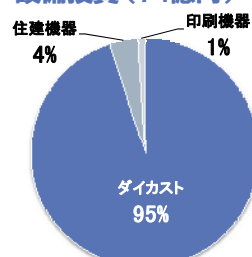
売上高 (1,083億円)



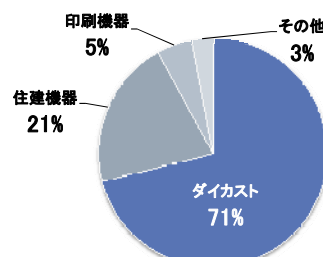
営業利益 (35億円)



設備投資 (74億円)



人員 (8,732名)



10

Ⅱ. 2015年3月期 通期 連結業績予想

11

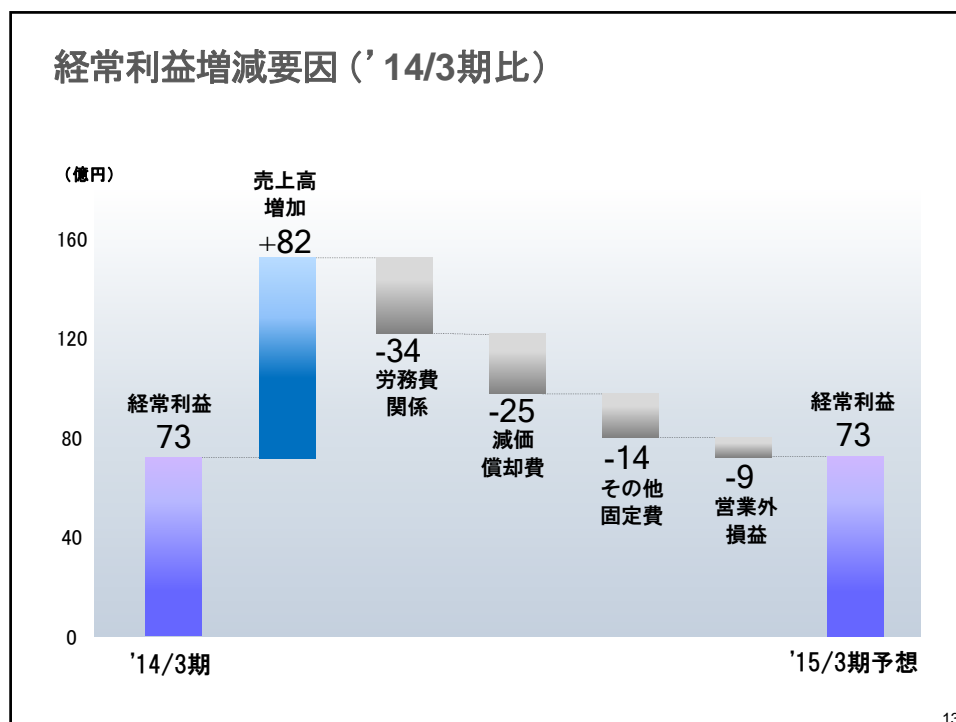
業績予想

**売上高は5期連続の増収、
営業利益、経常利益は増益、当期純利益は減益**

単位：億円

	'13/3期		'14/3期		'15/3期		前期比	
	(利益率%)	実績	(利益率%)	実績①	(利益率%)	予想②	②-①	増減率%
売上高		1,666		1,997		2,230	+233	<+11.7>
営業利益	(2.0)	33	(3.8)	77	(3.9)	86	+9	<+12.2>
経常利益	(1.8)	30	(3.6)	73	(3.3)	73	+0	<+0.5>
当期純利益	(1.2)	20	(2.1)	41	(1.7)	37	-4	<-10.5>

12

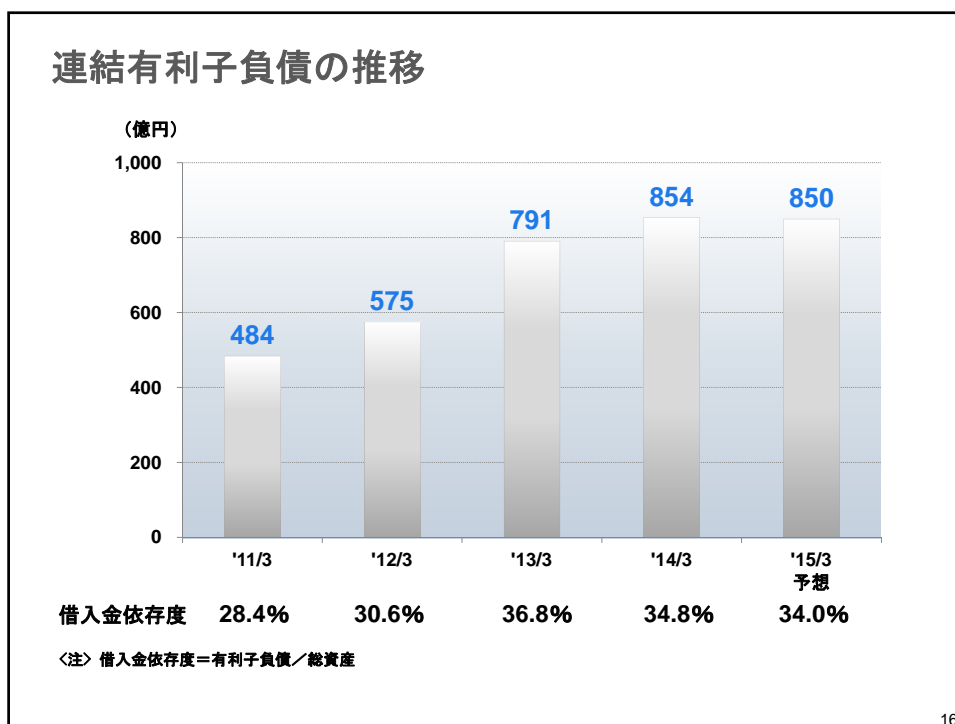
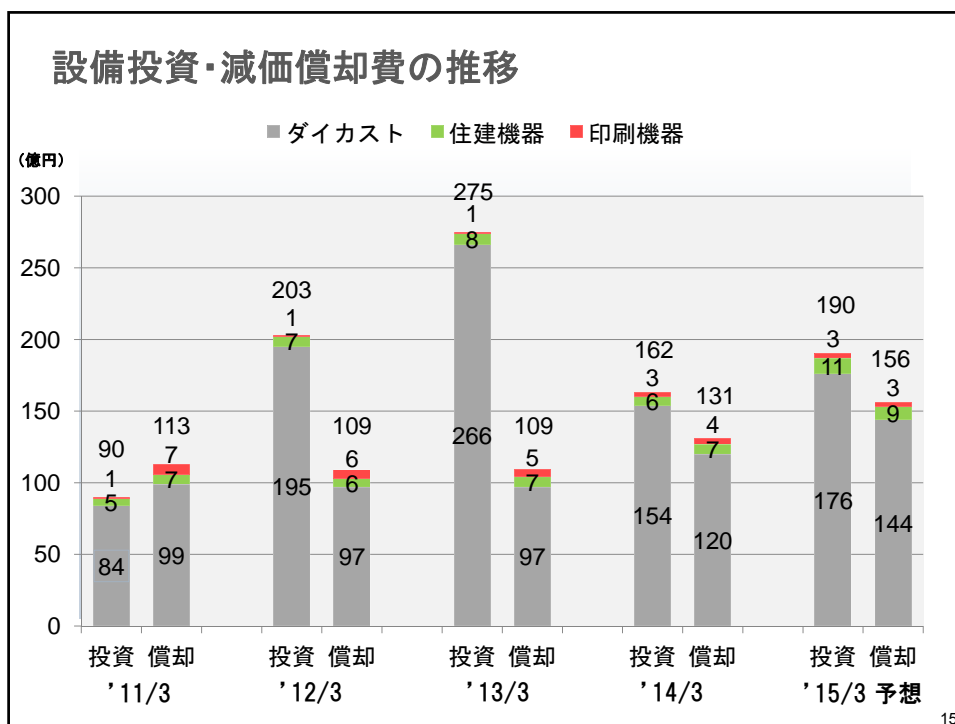


為替レート

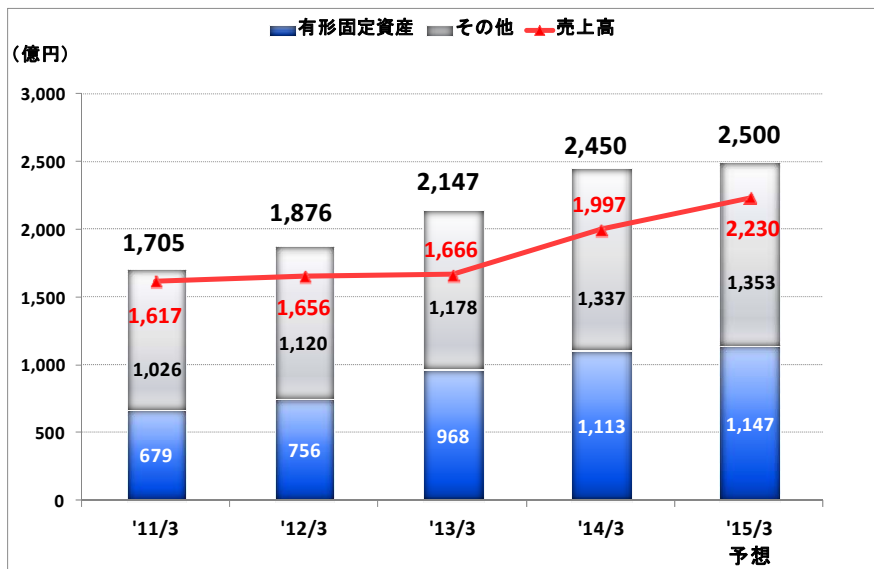
	'14/3期	輸出入レート ※換算レート	'15/3期 下半期想定レート
US \$	100円		100円
	97円		(+60百万円)
EUR	133円		140円
	—		(±0百万円)
Stg £	158円		170円
	151円		(+10百万円)
CNY	16.3円		17.0円
	15.7円		(-70百万円)

()内は1%円安に変動した場合の年間の営業利益影響額。
※海外子会社財務諸表換算レート

14



売上高・総資産の推移



17

Ⅲ. 事業別の状況

18

通期業績予想におけるポイント

■ダイカスト事業

- ・国内需要に不透明感があるが、海外の内、北米と中国で堅調な需要が期待できる。

■住建機器事業

- ・人民元高で利益は減少する方向に影響が出る。

■印刷機器事業

- ・円安で海外売上げ(輸出)の伸びが期待できる。
- ・事業統合効果が少しずつ顕在化している。

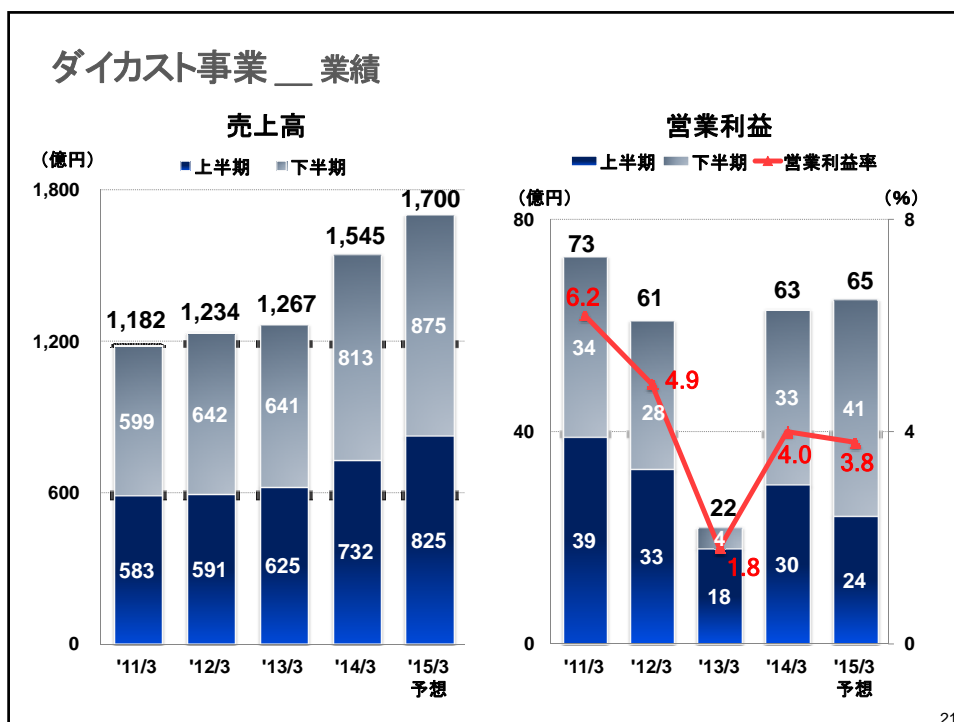
19

事業別の業績

単位:億円

	'13/3期		'14/3期		'15/3期		前期比	
	(構成比率%)	実績	(構成比率%)	実績①	(構成比率%)	予想②	②-①	増減率%
売上高								
ダイカスト	(76.0)	1,267	(77.4)	1,545	(76.2)	1,700	+155	<+10.0
住建機器	(14.6)	243	(13.0)	260	(11.7)	260	+0	<+0.2
印刷機器	(9.4)	156	(9.5)	190	(12.1)	270	+80	<+41.9
営業利益	(利益率%)		(利益率%)		(利益率%)			
ダイカスト	(1.8)	22	(4.0)	63	(3.8)	65	+3	<+4.0
住建機器	(7.3)	18	(4.3)	11	(3.5)	9	-2	<-18.5
印刷機器	(-)	-7	(1.6)	3	(4.4)	12	+9	<+292.9

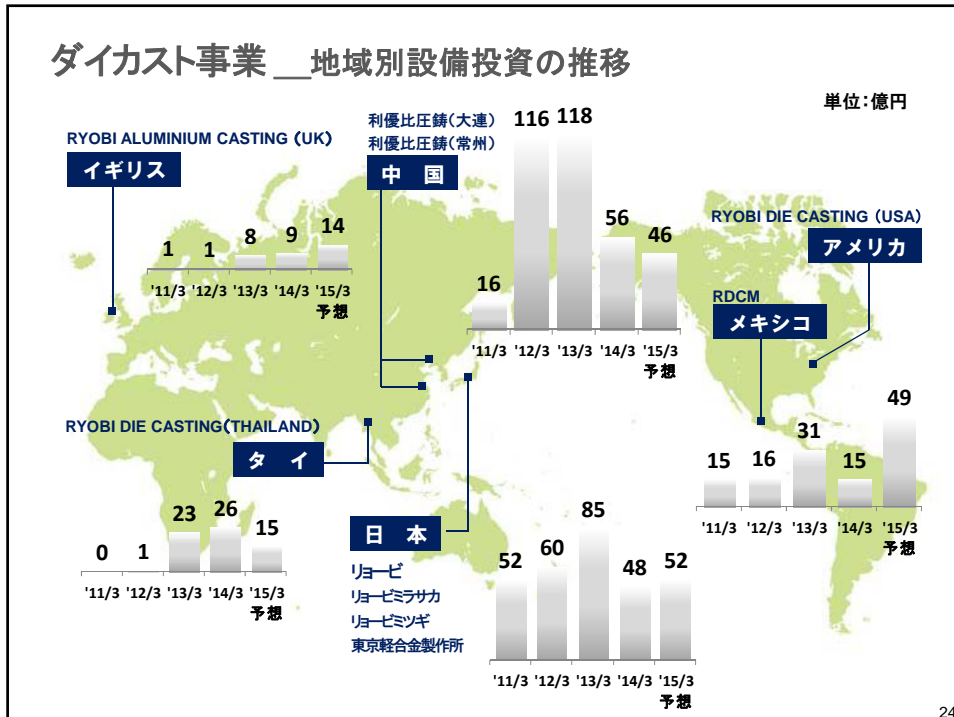
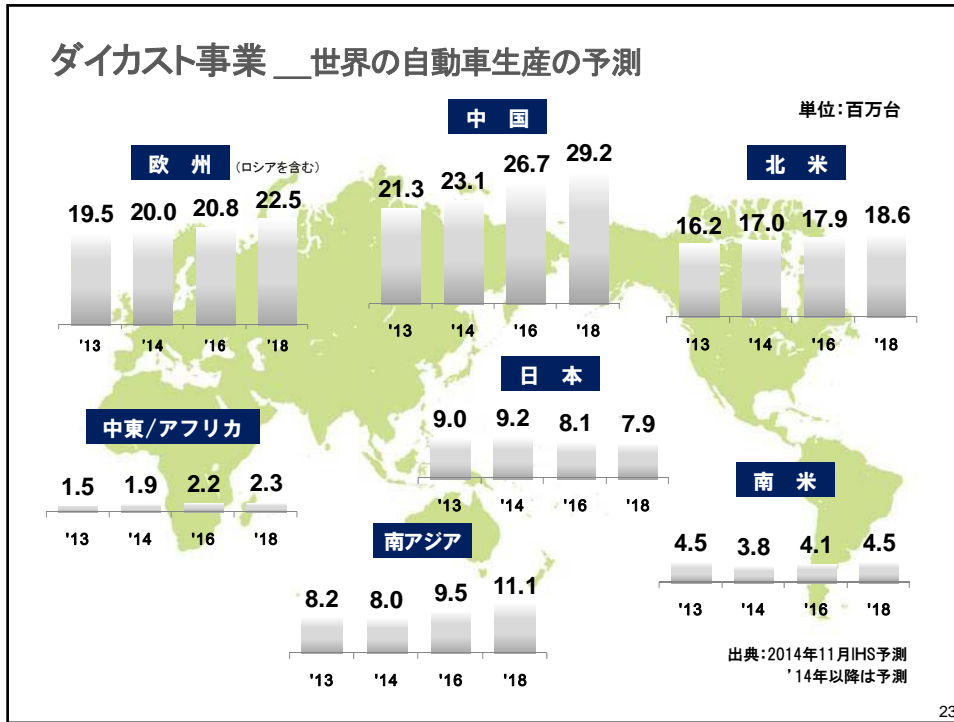
20



ダイカスト事業 __ 方向性

方向性	有望市場への資源配分と収益性改善により '17/3期に営業利益90億円を達成し、 営業キャッシュフローの増大に貢献する。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> • 新規品受注活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 中長期の新規品受注計画の共有とマネジメント強化 ⇒ 海外グループ会社の受注活動支援 (量産開始まで日本から技術的フォローの実施) • 技術開発力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ アルミダイカスト製サブフレームの生産技術で、 「大河内記念技術賞」、「日本アルミニウム協会開発賞」、 「素形材センター会長賞」など、4つの賞を受賞

22



ダイカスト事業 __ 地域別事業展開の方向性

		'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期	'17/3期
日本	・技術開発拠点 ・金型製作の中心拠点 ・海外サポート拠点	新金型工場完成 (26億円)	4月 量産開始。生産能力が2倍に			
北米	・米州での製造拠点 売上高の拡大と収益性の向上。	アメリカ		新規品受注を拡大		
		メキシコ	生産設備増強 (29億円)	増強設備の量産開始		
欧州	・欧州での製造拠点 新規品の確実な立ち上げ。 収益性の向上。			新規品受注による増産		
中国	・中国での製造拠点 増産対応の強化。 新規品の確実な立ち上げ。	大連 総投資額 270億円	第2工場完成 10月 量産開始	生産が本格化		
		常州 総投資額 180億円	工場完成 11月 量産開始	生産が本格化		
東南アジア	・東南アジアでの製造拠点 新規品の確実な立ち上げ。	タイ 総投資額 75億円	工場完成 6月 量産開始	生産が本格化		

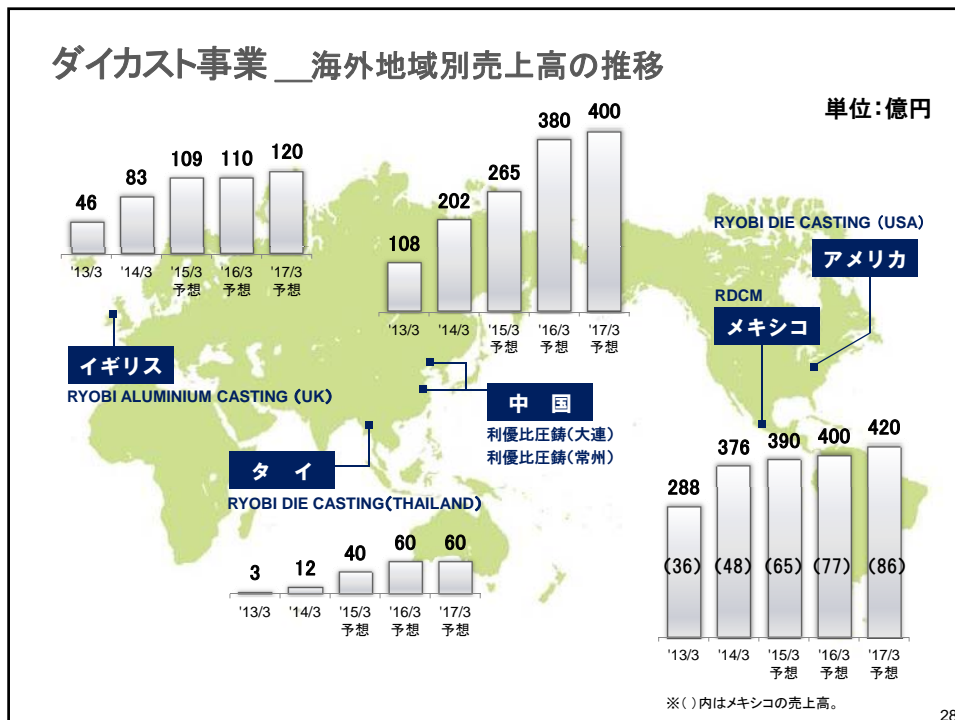
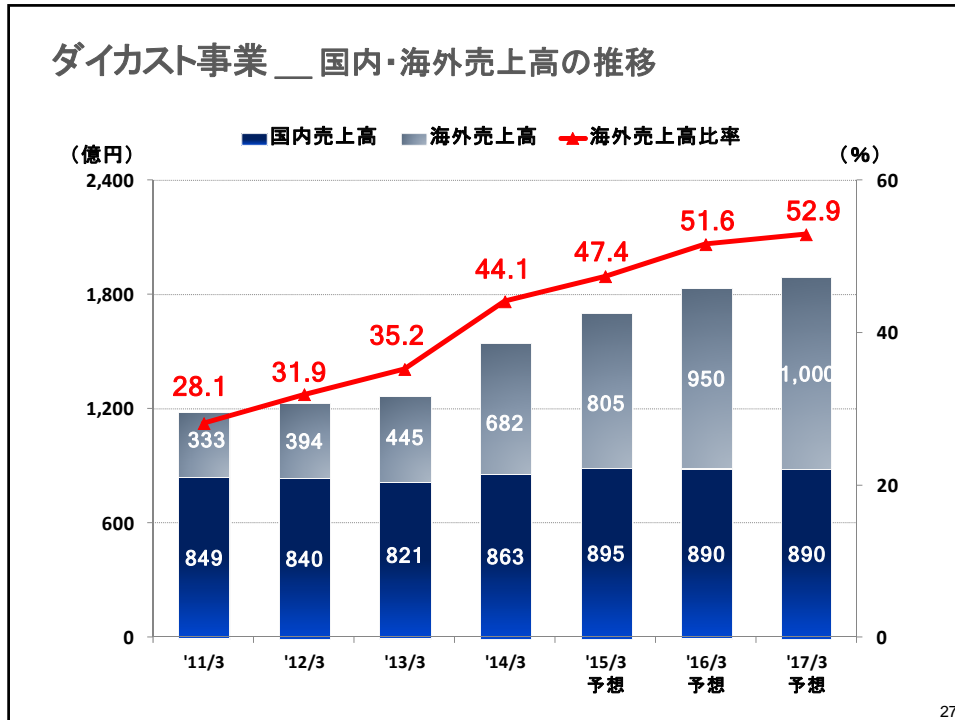
※表中の総投資額は、2014年3月期までの実績と2017年3月期までの計画を含む。 25

ダイカスト事業 __ お得意先 売上高順位

2015年3月期 第2四半期実績

順位	お得意先	日本	北米	欧州	中国	タイ
1	フォードモーター		○	○		
2	富士重工業	○				
3	ゼネラル・モーターズ		○	○	○	
4	フォルクスワーゲン			○	○	
5	ジャトコ	○	○		○	○
6	三菱自動車工業	○			○	○
7	スズキ	○		○		○
8	本田技研工業	○	○		○	○
9	現代自動車		○			
10	日産自動車	○	○		○	○

26



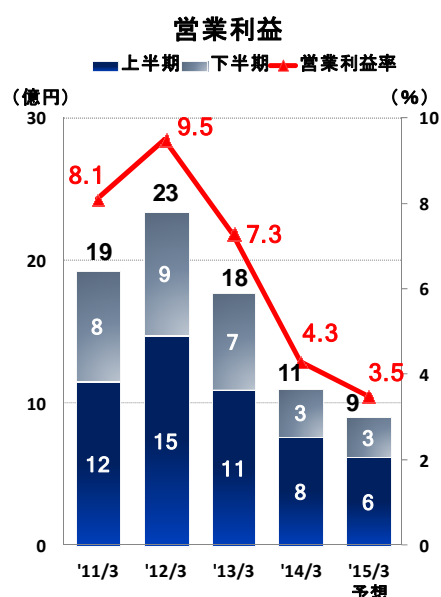
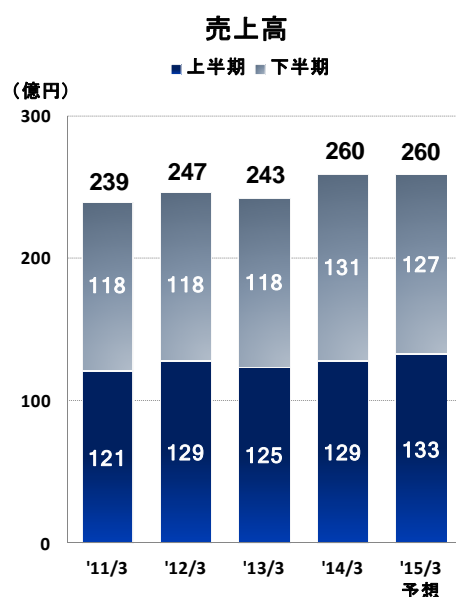
ダイカスト事業



2014日本ダイカスト会議・展示会

2014年11月13日～15日
(於：パシフィコ横浜)

住建機器事業 業績



住建機器事業__方向性

パワーツール

方向性	ユーザー（顧客）の期待を超える商品およびサービスを提供することにより、市場の信頼を築く。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・円安への対応 ・製造力の強化(コストダウン、生産性改善) ・商品力の強化(戦略策定プロジェクト) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 顧客ターゲット毎の販売戦略 ⇒ マーケティング力の向上

31

住建機器事業__方向性

建築用品

方向性	市場ニーズに沿った商品およびサービスを提供する。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・円安への対応 ・商品力の強化、市場シェアの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 機能性・意匠性の高い商品などの開発 ⇒ 既存商品(ドアクローザ、フロアヒンジなど)のシェア拡大 ・生産性・サービスの向上 ・製造力の強化(コストダウン、生産性改善)


32

住建機器事業__商品開発・シェア拡大

建築用品



オフィストア用ドアクローザ

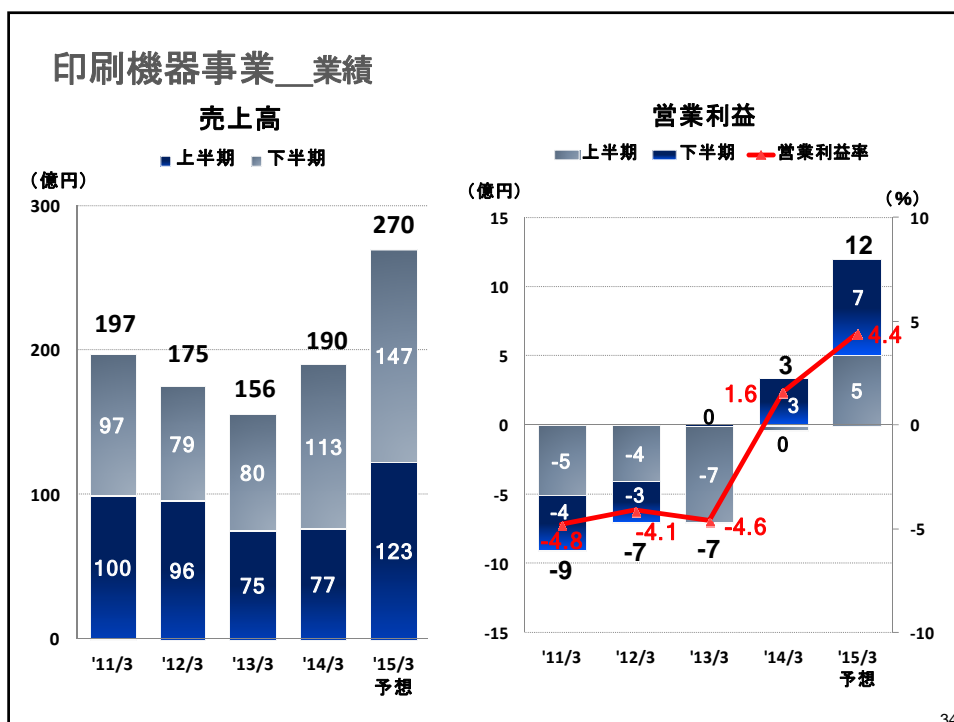


防火ドア用自閉装置 オートスイングヒンジ



取替用ドアクローザ

33

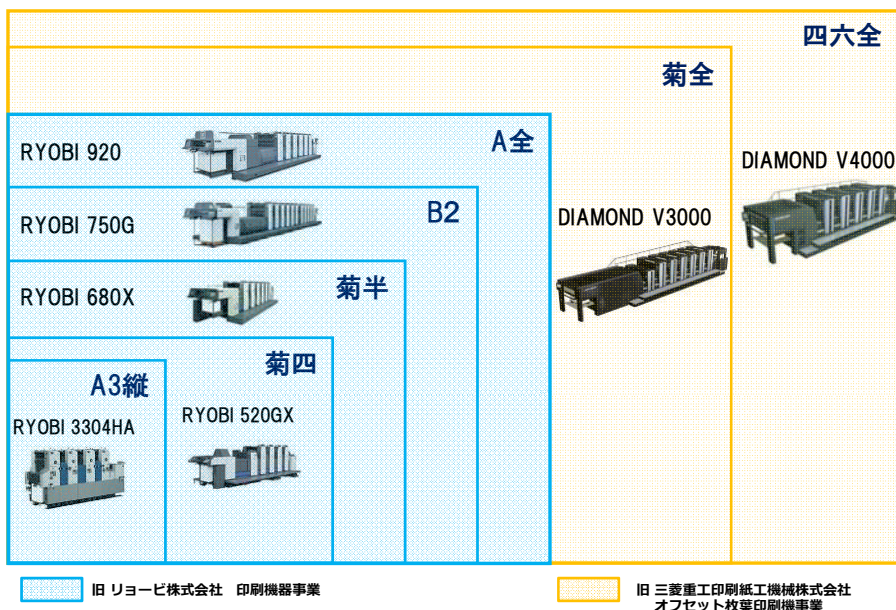


印刷機器事業__方向性

方向性	経営管理体制を確立、強化し、合併の期待効果を実現する。(経常利益15億円を達成する)
戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・商品ラインアップの拡充 ・開発力、製造力の強化 ⇒生産ノウハウの共有、生産能力の拡大、人員配置の適正化 ・販売力、サービス力の強化 ⇒拡充した顧客基盤を最大限に活かして売上高拡大
スローガン	お客様にとってお役に立つ商品を提供し、お客様と一緒に成長する

35

印刷機器事業__商品ラインアップ



36

印刷機器事業__商品ラインアップ



菊全判 オフセット印刷機

37

企業理念

**技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。**

38